



DATA BOX vs.コンサドーレ札幌

通算成績 12勝9分10敗
総得点36 総失点35
(データはJ2リーグ戦)



開幕戦では柏に2-4と完敗した札幌だが、ジェイを軸にした攻撃陣は強力

強力 前線トライアングル
守護神退団 隙を突け

最後に対戦したのがともにJ2だった2016年で、J1では初対戦。陣容も大きく変わり、4年前の1勝1敗の対戦成績は参考にならない。その後の札幌はJ1に残留し続けるだけでなく、18年から指揮を執るミハイロ・ペトロビッチ監督の下で進化を遂げ、昨季はルヴァン杯で準優勝した。前線で強力なトライアングルを形成するジェイ、日本代表の鈴木武蔵、タイ代表のチャナティップを含めた主力の大半が残留した布陣から、15年から守護神を担ってきた韓国代表の具聖潤が、兵役に就くために5月下旬に電撃退団した。札幌の守備陣に生じる隙を突きたい。(ライター・藤江直人)

一番うまいやつが偉い
遠慮なんていない

—中断からの再開です。それぞれ、J1は初めてと、13年ぶりの舞台です。斉藤 サッカーをできるありがたみを強く感じる時間でした。レベルの高さをいわれるけど、先入観を持たず、挑戦者精神でのびのびプレーしたい。カズ 再開以前より感染予防の高い意識が一人ひとりに求められる。いい準備をしてJ1という舞台に立ちたい。

抜かれて悔しいけど楽しい

—練習では2人とも楽しそうです。カズ 練習の合間に光毅がボールを持っていると、ちょっかい出しに行く。でも軽く抜くんですよ。抜かれて楽しいのも、この年になったから。悔しいけど楽しい。斉藤 僕は幸せです。でも、すみません、練習中は気を使いません。選手同士なので年齢差あまり感じないし。カズ ピッチでは先輩後輩も、上も下もない。実力あるやつが試合に出られる。一番うまいやつが偉い。そういう世界。遠慮なんてなくていい。斉藤 背中を見ていて、そういう思いは伝わっています。のびのびプレーできる環境を作ってもらっている。言動のすべてを見習わないといけないと思っています。—18歳の時のカズさんは。カズ ちょうどサントスに移籍したころですね。光毅は日本人の中でもぎらぎらした感じが表に出るタイプ。自分もそうだったので、よくわかる。でも、光毅はもっと大人に感じます。斉藤 自分ではよくわからないです。



三浦知良 × 斉藤光毅



©今井恭司 (STUDIO AUPA・右も)

カズ 初出場は高校2年生？ あの試合には一緒に出たよね。ドリブルで勝負して、簡単に相手を抜いて、すごいと感じた。最近は何の話もよくする。日本代表の環境とか、以前のJリーグのこととか。代表で交代させられてオフト監督に『俺を代えるのは俺だけだ』といった話とか。光毅にも言ってみると話している。斉藤 さすがに実現できていません。カズ 当時の僕は生意気だったけど、ブラジル人はそう言う。そんな環境で育ったから言えた。でも、自信もあった。斉藤 すごいなと単純に思うし、このくらいでないといけないんだと思う。

最上レベルまで突き抜けて

—53になった自分は想像できますか。斉藤 わからない。でもサッカーをやっていた。カズ 俺だって考えていなかったからね。18の時に53までやるとは。40の時だって思っていない、45の時だってない。20代の時は、32、33歳で引退かなと。斉藤 いま思ってますか、60までとか。カズ 思っていない。60歳って選歴だぞ。練習ができないんだと思う。いま、ぎりぎりになってきているから。斉藤 けがもあるし、体のケアとか、体

アシストしてください
僕が点入れますから

力の維持とか、すごいことです。カズ 本当に上までいかないとだめなんだ。下のレベルにいたら下がらない。天井突き抜けて、特別なところまで行って振り幅を大きくしておかないと。40以上で現役を続けるには、特別なところまでいった人でないといけない。(中村) 俊輔もそう。(松井) 大輔は40にいていないし、永遠の18歳と言われている。俺にとって、大輔と光毅は同じ若手だから。—カズさんはいくつになっても、貪欲にいろんなものを取り入れて試している。斉藤 そういう部分、すべてにおいて勉強しないとイケない。カズ たまに光毅のウォーミングアップとか、まねしているよ。U20代表のことも聞くよね、どんな練習しているのかとか。世界にはいろんなサッカーがある。どこでもできるやつがい選手。いいピッチでなくても、雨だろうが、雪だろうが、いいプレーできる選手がいい選手なんだ。光毅は、サッカーを知らない人が見てもわかる選手。切れがあって上手だなと。見ていて楽しい選手はお金をとれる選手。ドリブルにこだわってほしい。斉藤 今季はふたりで点を取ってみたい。どちらかのアシストで。カズ なら、俺がゴールするわ。斉藤 僕が入れますから、アシストしてください。カズ 35歳までゴールか。すごいな。斉藤 いやいや、その年齢差を生み出しているのはカズさんですから。カズ お前がデビューしないとそうならないんだから。お互い様だな。(文と聞き手=編集委員・潮智史)

2020 Now & then 2007

「入ってくれ」J1初、そして最後の決勝ゴール



時間が止まったような感覚の中で、何度も「入ってくれ」と願いを込めました。小村徳男さんが縦パスに競り勝ち、落とした場所へ走り込んだのが直前のCKで攻め上がっていた私でした。相手GKが前へ出てきたので、とっさの判断でボールを浮かせました。前半開始早々に決まった私のJ1初にして、最後になったゴールが決勝点になりました。敵地での開幕戦で敗れた私たちは、気持ちも新たに横浜F・マリノスとのホーム開幕戦に臨みました。試合前から「横浜ダービー」

は注目され、スタンドはほぼ満員。幸せな思いに浸りながら、新人の乾貴士選手も加わったマリノスの猛攻を必死に零封しました。2010年限りで引退した後は横浜FCで指導者を務め、今季からはユース監督として、トップチームの未来を担うホープたちを育てています。(構成・ライター=藤江直人) J1に初挑戦した2007年に三ツ沢での勝ち点獲得に貢献した3人が登場します。

◇2007年3月10日 J1第2節
横浜FC 1-0 横浜F・マリノス
得点者 DF早川知伸(前半7分)



試合後、スタンドの歓呼に応える早川さん。1万3千人あまりが詰めかけた

1 早川知伸(ユース監督)



1 献立づくり

栄養算出 脂質抑え、ご飯も進む

西谷トレーニングセンター内の食堂に常駐して、メニュー作成と食事の提供を担当するのが株式会社LEOCの石川真由美さんだ。「毎日量る選手の体重などから平均的な栄養価を算出し、脂質を抑えめにしながらもご飯が進む献立を、日々考えています」主菜の中で選手に「さっぱりしていて食べやすい」と、リクエストが多いのが鶏肉。もも肉だけでなく胸肉やささ身なども交えて、味付けも変えながら提供する頻度を上げている。「一人暮らしの若手選手は3食しっかり食べに来るので、やりがいがありますね」

LEOC社員で管理栄養士の石川さん。主菜の中でも人気の鶏もも肉照り焼きゆず風味



選手に好評な食堂に潜入します。(ライター・藤江直人=写真も)